

伊奈吉物語

★ INAKICHI MONOGATARI ★



第 3 話

Episode 3

公益財団法人いきいき埼玉



しばらくして、

伊奈吉の なかまが

^か狩りから もどってきました。

ライオンたちは たべものを ^て手にいれましたが、

^{えもの}獲物を さがして

うごきまわり、

かけまわり、

^{だんけつ}団結をし、

^{しんぼう}辛抱し、

^{おも}思いきり、

^{さき}先を よみ、

^{ちえ}知恵を しぼり、

^{ちから}力を だしつくし、

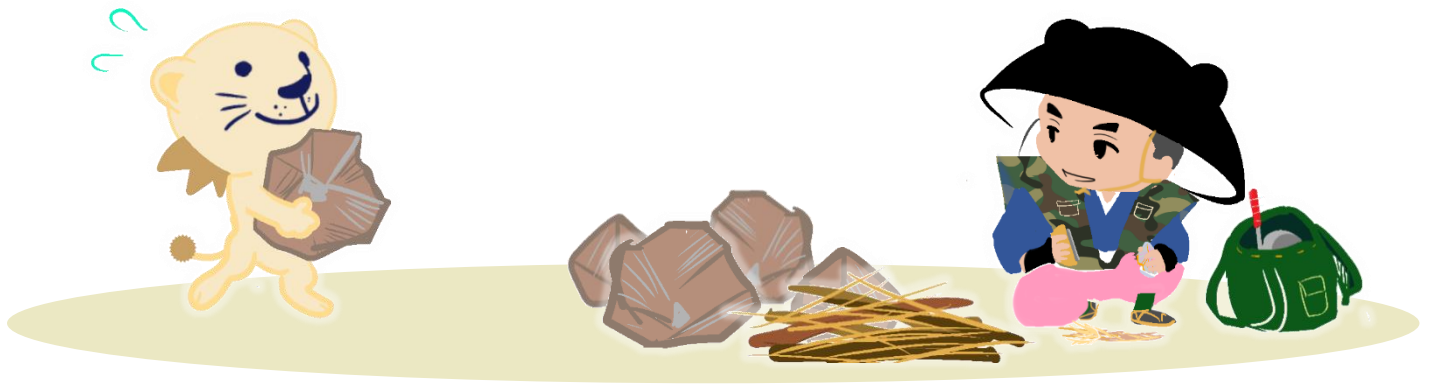
たがいを たたえあって

クタクタに くたびれて しまっていました。

みんな ^{じめん}地面に のびたまま

うごくことも できません。





そこで 伊奈吉は、人間に おそわりながら
あたりの ^{くさき} 草木や ^{いし} 石を あつめて、
かまどを つくりました。

それから、^ひ 火と ^{どうぐ} 道具を つかって
なれない ^{りょうり} 手つきで 料理を はじめました。



グッタリ していた

なかまたちも、

ただよってきた いいにおいに

おもわず、

「なんだろう？」と ^{あたま}頭を もちあげました。



伊奈吉は ドキドキしながら

はじめての 料理を

みんなに たべて もらいました。

